



「ささえ～る」

広報委員会

※『ささえ～る』とは、「佐々木」・「ささえる」・「エールを送る」の意味を込めた造語です。

作業療法
作品展



理事長・院長

菊野恒明

春が来て新年度を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。世間ではアベノミクスとか言っていて経済の動きに変化が見られるようです。日経平均も4年7か月振りに1万3千円を回復しました。もっともこの原稿が活字になる頃にはまたどうなっているかわかりませんが。

TPP(環太平洋経済協定)への参加をめぐっては、日本の誇る国民皆保険制度が崩壊するのではないかと心配されています。その他、キプロス

の問題、北朝鮮の動向などなど、この先いつ世の中がどうなっていくのか不安な世相です。

佐々木病院では、自らの足元をしっかりと見据え、こつこつと為すべきことを積み重ねて行くしかないと思っています。「水到渠成」「水到りて渠成る」を繰り返し徹底していきたく思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

新任診療部長の紹介

中村 主計 (なかむら かずえ) 精神保健指定医



平成25年4月より、着任しました中村です。よろしくお願いいたします。東京慈恵会医科大学を卒業後、母校の附属病院で2年間、研修した後に、平成10年より富山大学精神科を中心に富山県内で精神科に従事して

てきました。富山県内では、複数の病院に勤務した経歴がありますが、佐々木病院は初めてですし、これまで、常勤として勤務したのはすべて、総合病院の精神科であり、現在、勝手の違いに戸惑い中であり、単科の精神科病院の診療の難しさを実感する毎日です。

佐々木病院のイメージですが、社会復帰施設が充実している病院というイメージを持っていました。これらの施設を活用しながら、患者さんやご家族の要望に応えられるように頑張りたいと思います。

～ プロフィール ～

専門分野	精神医学一般
資格	医学博士、精神保健指定医 日本精神神経学会専門医・指導医
治療理念	あせらず、あわてず、でもあきらめず。
目標	薬物療法のみにとどまらず、非薬物療法についても、今後、勉強を進めていきたいと思っています。自分でコントロールしているつもりですが、時折、感情が表に出るので、まだまだ、自分は未熟者であり、改善の余地があると思っています。
趣味	自動車
ひと言	難しいことを考えることが苦手で、複数のことを一度に考えるのが苦手なので、なるべく、頭を整理して考えることを心がけています。

第11回家族会報告

(平成25年3月4日開催)

今回の家族会では「富山型デイサービスの活動と障害を抱える人たちができること」をテーマに、清水利恵さんをお招きして講演会を開催しました。夫の清水崇宏氏が統合失調症を発症され、被害妄想



の症状に悩まされながらも、病気と向き合い夫婦二人三脚で自立支援活動に取り組んでおられるお話を聴くことができました。参加されたご家族の方から大変良いお話が聞けて良かったという声と、希望をもらったような気がするという声を多く頂きました。

午後からの座談会では、講演会のお話から始まり「当事者の話を聞くことで励みになり、良い刺激になりました。自分の子供にも、崇宏氏のように前に進んでほしい」という意見が多くありました。

今後ご家族との意見交換を多く持ち、アンダンテでの活動に役立てていけるよう、スタッフ一同取り組んでいきたいと思っています。

アンダンテスタッフ 杉本

オーダーリングシステム導入

今年4月より、薬剤のオーダーリングシステムを導入しました。導入にいたるまで、多くの課題もありましたが、改めて、院内の運用を見直す良い機会となりました。診療、調剤業務、会計業務の連携を図り、業務の効率化を試みております。

現在、導入し1ヶ月が経ちました。精神科特有の部分もあり、スムーズな運用までもう少し時間がかかりそうです。患者様に慣れない運用でご迷惑をおかけしないよう、職員一同、最善を尽くしてまいります。



看護部紹介

看護部では、昨年度より4月に各病棟活動の目標を立てています。今年度の目標には、「患者様をお待たせしない」、「毎日、ケアの方法について話し合うためのミーティングを行う」などの目標が挙がっており、スタッフの患者様に対する温かい気持ちが形になっているのを感じます。今年度からは、各委員会でも目標を立てています。「～を作る」、「～を開始する」など活動の前進が感じられる目標が挙がっているようです。

昨年度は看護管理体制の強化、委員会活動の推進(看護手順の作成や記録の充実等)、入院患者様の受け持ち制導入、スタッフの声を生かした看護部理念の改訂など大きな転換期となりました。看護部長が交代して2年目の平成25年度は、その転換が患者様やご家族、スタッフにとってより良いものとなるよう整えたいと考えています。そして看護部理念にあるように、患者様やご家族に満足していただけるような看護サービスを提供することを目指していきます。

看護部長 長井

『富山市医師会看護専門学校を卒業して』

友達から「看護師になる為に学校へ行く」と聞き「じゃあ私も」と言った軽い気持ちから始まった学生生活。その2年間はあっという間のものでした。午前中は看護補助者として働き、午後からは学校へ通い、家に帰ると子育て、家事に追われる日々。テストの時は遊びにも連れて行ってあげる事もできず、実習の時は子供より先に家を出なくてはならなかったため、子供達は自分達で戸締りをして小学校に通うといった日々でした。よほど淋しい思いをさせていたのだと思います。よく正看の学校へ行かないでと言っていました。2年間を振り返ると家族はもちろん本当に多くの方々に、そして患者様にも励まされ支えてもらったと思います。そして、資格試験に無事合格し学校を卒

業した時も、患者様はもちろんいろいろな人たちに祝福され本当に幸せだと改めて感じました。これからは専門的な知識や技術の向上はもちろん患者様と向き合い患者様の立場に立ち、その場その時に応じた最良の医療サービスを提供できるような看護師を目指して頑張りたいと思います。

S-2 病棟 栄

H25年度富山市医師会看護専門学校 合格者

- ・看護学科(進学コース) … 2名
- ・准看護学科 … 2名

おめでとうございます。

学業と仕事を両立させ頑張ってください。



新入職員インタビュー

室谷さん(看護師)

- ① とても明るく笑い声が多い病院だと感じました。
- ② 車、バイク
- ③ 一人ひとりの思いに沿った関わりをしていきたい。

森田さん(看護補助者)

- ① 面接後病棟を案内された時、患者さんからあいさつされました。皆さん明るい表情に驚きと共に嬉しく思いました。
- ② ボーリングには少々自信あります。(定年前に職場で何回か優勝の経験あり。)他には、今でもスキーをやっています。
- ③ 患者さんが過ごし易い様に、周辺の環境整備に努める。又、良き理解者に成れる様、自分なりに努力する。

①佐々木病院の印象は？

②趣味は

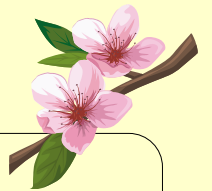
③今後の抱負を一言で！

門前さん(看護補助者)

- ① 皆さん仲が良く、明るい職場
- ② ……
- ③ 色々と教えて頂きながら頑張ります。

塚田さん(フィールド・ラベンダー指導員)

- ① 笑顔の溢れる親しみある雰囲気だと思いました。レンゴーでの利用者さん、職員さんの働きぶりに感動しました。
- ② ウォーキング
- ③ 一日一日を大切に、利用者さんから笑顔がこぼれるような声かけ・支援を行う事です。



ひな祭り兼カラオケ紅白歌合戦

平成25年3月6日に「ひな祭り兼カラオケ紅白歌合戦」の催しが有り、今回もスクリーンや花道を設けられた形で行われました。例年、希望者も多く、出場できなく残念がられる方もおられ、時間の制約がある中、10組合計20名の方が出場されました。

このひな祭りを毎年楽しみにしている患者様や出場が決まり、当日まで緊張されっぱなしの方、「今年こそは歌いたい」と強く希望される方等等、人気の高い行事の一つです。

私自身、この様な行事の司会は約3年ぶり、司会の依頼をきいてからは不安で仕方ありませんでしたが、もう一人の司会者の協力であったり、同じ活動療法委員の方のサポートがあったおかげで無事に進



行できたように思います。そして何より出場された方々の喜ばれていた表情が印象に残った行事だったように思います。また、来年もひな祭りが行われると思いますが、病院のスタッフ皆で協力し合い、盛り上げていきましょう。

活動療法委員 村上



堀川中学校文化部発表会

去る3月16日に毎年恒例となった「堀川中学校文化部発表会」がフィールド・ラベンダーで行われました。当日は、父兄の方や当施設の利用者の方、地域の方々に大勢来て頂き、大変にぎわいました。

「夢屋」という題の演劇部公演は、夢をお金で買うと言った内容で、考えさせられるストーリーと迫力ある演技に会場全体が引き込まれました。吹奏楽部の演奏は、普段見られない楽器の演奏に圧倒される方、なじみのある曲に体を揺らして演奏を楽しまれる方が見られました。

ラベンダーバンド演奏は、バンドメンバーの緊張もみられましたが、アンコール！！の声も上がり、会場全体で盛り上がりました。

どの発表も普段の練習の成果が見られ、とても素晴らしい会になったと思います。毎年恒例ではありますが、年々盛り上がりを見せております。来年も中学生の若さあふれるパフォーマンスとしみのある！？ラベンダーバンドにご期待下さい。



【 演劇部の公演風景 】



編集後記

大きな道路に面した立地条件の良い佐々木病院ですが、屋上に病院シンボルが掲げられているものの、マークになじみのない方にはあまり存在感がないようでした。このほど、「佐々木病院」というりっぱな看板を設置いたしました。夜間も遠くからわかるようにしてあります。お近くにおいでの際は、是非一度皆さんの目でご確認してみてくださいはいかがでしょうか？

広報委員会 吉田

医療法人社団 重仁 佐々木病院

住所 〒939-8073 富山県富山市大町1番地
電話 (076) 425-2111 / FAX (076) 425-2112
ホームページ <http://www.sasakihp.or.jp/>

精神科デイケア・精神科デイナーケア

アンダンテ

電話 (076) 423-2114(直通)

指定障害福祉サービス事業所・地域生活支援事業所

フィールド・ラベンダー

住所 〒939-8073 富山県富山市大町3-4
電話 (076) 495-1555 / FAX (076) 495-1666
ホームページ <http://www.field-lavender.net/>